

# 和歌山縣報

第八百八十八號

明治四十二年六月二十七日

## ○縣令

○和歌山縣令第三十一號

本縣蠶病豫防法施行手續左ノ通相定ム

明治四十二年六月廿七日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

### 蠶病豫防法施行手續

- 第一條 蠶病豫防法施行規則第一條ニ依ル蠶種製造届書ハ毎年一月末日迄ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ
- 第二條 蠶病豫防法施行規則第二條ニ依ル届書ハ其ノ場所ヲ豫定シ得ヘキモノニ在リテハ毎年四月十五日迄ニ臨時ニ定ムルモノニ在リテハ其ノ都度之ヲ知事ニ差出スヘシ
- 第三條 前二條ノ届出ヲナシタル者ハ様式第一號ノ標札ヲ其ノ營業期間中各營業所門戸ノ見易キ所ニ掲クヘシ
- 第四條 蠶病豫防事務所ハ和歌山市ニ常置シ和歌山縣蠶病豫防事務所ト稱シ縣下一圓ヲ管轄ス必要ト認メタルトキハ臨時ニ出張所ヲ設置ス此ノ場合ニ於テハ該事務所ノ名稱位置管轄區域及其ノ開閉期日ハ時々之ヲ告示ス
- 第五條 生絲製造者生繭賣買者第二條ノ届出ヲ爲シタモトキハ様式第二號生繭取扱証票ヲ下付ス

生絲製造者生繭賣買者ハ其ノ代理人若ハ雇人ヲシテ生繭取扱場所以外ニ於テ生繭ノ賣買ニ從事セシムルトキハ様式第三號生繭取扱証票ヲ下付請求書ヲ所轄蠶病豫防事務所ニ差出シ前項証票ノ下付ヲ受クヘシ

第六條 前條ノ証票ハ業務ニ從フトキ必ス之ヲ携帶シ他人ニ使用セシムルヲ許サス當該吏員必要ト認ムルトキハ証票ノ臨檢ヲ爲スコトアルヘシ此場合ニハ速ニ之ヲ提示スヘシ

第七條 生絲製造者生繭賣買者ハ第五條ニ依リ下付ヲ受ケタル証票ヲ毀損若ハ亡失シタルトキハ其ノ旨直ニ所轄蠶病豫防事務所ニ届出証票ノ再下付ヲ受クヘシ

第八條 第五條ニ依リ証票ヲ受ケタル當業者ハ業務終了後直ニ其ノ証票ヲ所轄蠶病豫防事務所ニ返納スヘシ

第九條 蠶病豫防法施行規則第十條ニ依ル蠶室蠶具ノ消毒ハ其ノ使用後蠶病豫防事務所ノ定ムル期日ニ於テ當該吏員ノ臨場ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ其期日ハ蠶病豫防事務所ヨリ通知ス但シ新ニ蠶種製造ノ場所ヲ設置スル場合ハ使用前本文ニ準シ必ス一回消毒ヲ行フヘシ  
當該吏員ノ臨場ヲ受ケスシテ施行シタルモノハ施行セサルモノト看做ス

第十條 蠶病豫防法施行規則第十條第二項ニ依リ蠶病消毒済証ヲ下付スル場合ニ於テハ様式第四號蠶病消毒済附屬証ヲ併セ下付ス

第十一條 蠶種製造者原種ノ掃立ヲ終リタルトキハ三日以内ニ様式第五號掃立届ヲ所轄蠶病豫防事務所ニ差出スヘシ但シ數回ニ掃立テタルトキハ其ノ都度之ヲ差出スヘシ

第十二條 蠶病豫防法施行規則第十二條ニ依リ蠶種製造者蠶兒ノ全部又ハ一部ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テ其ノ讓受人蠶種製造者ナルトキハ双方連署シ其事由ヲ具シ蠶種製造者ニアラサルト

キハ讓渡人其事由ヲ具シ様式第六號蠶兒讓渡許可申請書ヲ讓渡人ノ所轄蠶病豫防事務所ニ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ管該吏員ヲシテ臨檢セシメ其ノ事由正當ナリト認ムルトキハ讓渡人ニ許可ヲ與フ此ノ場合ニ於テ讓受人蠶種製造者ナルトキハ其ノ蠶兒及之ニ相當スル掃敷ニ對シ様式第七號蠶兒讓渡證明書ヲ下付ス

讓受人蠶種製造者ニシテ讓渡人ト蠶病豫防事務所ノ管轄ヲ異ニスルトキハ第二項ノ手續ヲ終リタル後蠶病豫防事務所ハ其ノ旨ヲ直ニ讓受人ノ所轄蠶病豫防事務所ニ通知スヘシ

第十三條 蠶種製造者蠶兒ノ上簇ヲ終リタルトキハ様式第八號上簇届書ヲ即日所轄蠶病豫防事務所ニ差出スヘシ但數回ニ上簇シタルトキハ其ノ部度之ヲ差出スヘシ

第十四條 蠶種製造者ハ蠶兒ノ上簇後一化性ニ在リテハ十二日以内ニ二化性及多化性ニ在リテハ十日以内ニ繭ノ選別ヲ爲スヘシ選別ヲ終リタルトキハ様式第九號收繭調書ヲ作り當該吏員臨檢ノ際之ヲ差出スヘシ

第十五條 蠶病豫防法施行規則第三十八條ニ依リ種繭證明書ノ書換(下付)ヲ請求セムトスルトキハ様式第十號種繭證明書書換(下付)請求書ヲ所轄蠶病豫防事務所ニ差出スヘシ

第十六條 原種製造ノ臺紙ニハ番號ヲ附シ其ノ蠶區ノ符號ハ數字ヲ用ウヘシ

母蛾ハ二十八蠶區連接ノ紙袋ニ入レ之ニ台紙ト同一ノ番號符號化性名稱及製羯者ノ氏名ヲ記載スヘシ但シ臺紙ノ番號ハ原種ノ名稱製造者又ハ製造ノ場所ヲ異ニスル毎ニ新ニ之ヲ附スヘシ

第十七條 蠶病豫防法施行規則第二十七條第一項ニ依リ原種用ノ印(製絲用種檢査合格ノ証印)ノ押捺ヲ請求セントスルトキハ蠶病豫防法施行規則第十六條第一號ノ檢査終了後直ニ様式第十一

蠶原種用印(製絲用種検査合格証印)押捺請求書ニ台紙及種繭証明書ヲ添ヘ之ヲ所轄蠶病豫防事務所ニ差出スヘシ

第十八條 蠶病豫防法施行規則第十六條第二號及第三號ニ依ル不越年蠶種ノ検査ヲ請求セムトスルトキハ原種ニ在テハ様式第十二號不越年原種検査請求書ヲ製絲用種ニ在リテハ様式第十三號不越年製絲用種出敷繭検査請求書ヲ不越年蠶種ノ製造後直ニ所轄蠶病豫防事務所ニ差出スヘシ前項不越年原種検査請求書ニハ原種出敷繭及母蛾ヲ添付スヘシ

第十九條 蠶病豫防法施行規則第十六條第二號ニ依ル越年蠶種ノ検査ヲ請求セムトスルトキハ越年蠶種ノ製造後直ニ様式第十四號越年蠶種検査請求書ヲ同條第三號ニ依ル越年原種ノ検査ヲ請求セムトスルトキハ毎年七月三十一日迄ニ様式第十五號越年原種母蛾検査請求書ヲ所轄蠶病豫防事務所ニ差出スヘシ

但シ七月三十一日以後蠶種ノ製造ヲ爲ストキハ其ノ製造後直ニ該請求書ヲ差出スヘシ前項越年原種母蛾検査請求書ヲ差出シタルトキハ蠶病豫防事務所ハ別ニ原種及母蛾ノ提出期日ヲ通知ス

第二十條 越年原防母蛾ノ検査ハ毎年九月一日ヨリ之ヲ開始ス但シ七月十日以後開始スル事アルヘシ此ノ場合ニ於テハ別ニ其ノ期日ヲ告示ス

第二十一條 蠶病豫防法施行規則第十七條但書第十八條及第三十六條第二項ノ検査ヲ行フトキハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知ス

蠶種製造者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ検査ヲ終ル迄不越年製絲用種ヲ蠶種製造ノ場所以外ニ搬出スル事ヲ得ス

第二十二條 蠶病豫防事務所ニ於テ蠶種製造者ノ原種ヲ保管スルトキハ請求ニ依リ預リ証ヲ交付ス

第二十三條 蠶種製造者ニ於テ受檢ノ爲蠶病豫防事務所ニ差出スヘキ蠶種ヲ自ラ保管セムコトヲ願出ツルトキハ相當保管証ヲ徴シ之ヲ許可ス

前項ニ依リ蠶種ノ保管ヲ爲サムトスルモノ第十九條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキハ母蛾ノミチ差出スコトヲ得

第二十四條 蠶種製造者蠶病豫防法施行規則第十六條第三號檢査終了ノ通知ヲ受ケタルトキハ蠶病豫防事務所ニ出頭シ蠶種ノ枚數及証印ノ有無ヲ取調ヘ之ヲ受領シ預リ証ヲ有スル場合ニハ之ヲ返納スヘシ

第二十五條 蠶病豫防法施行規則第七號又ハ第十四號ノ証印ヲ押捺スルトキハ同時ニ様式第十六號ノ印ヲ押捺ス

第二十六條 蠶病豫防法第十五條ノ取消ニ係リ又ハ蠶病豫防法施行規則第二十七條第三項ノ無効ニ屬シタル蠶種ハ官報及縣公報ヲ以テ之ヲ公示ス

第二十七條 蠶病豫防法施行規則第三十六條第一項ニ依リ製絲用種檢査合格ノ認印ヲ請求セムトスルトキハ様式第十七號用種變更請求書ニ蠶種ヲ添ヘ之ヲ所轄蠶病豫防事務所ニ差出スヘシ

第二十八條 蠶種製造者ヨリ知事ニ差出スヘキ書類ハ所轄蠶病豫防事務所ニ差出スヘシ

第二十九條 蠶種製造者又ハ其ノ代理人原種捕立后蠶病豫防法施行規則第十六條第一號及第二號ノ檢査終了前ニ外出セムトスルトキハ必ス相當ノ受檢代理人ヲ定メ置クヘシ

第三十條 第六條又ハ第八條ニ違反シタル者ハ貳拾圓以下ノ科料ニ處ス

附 則

第三十一條 本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十八年本縣令第十八號蠶病豫防法施行手續ハ之ヲ廢止ス

第三十二條 七月二十日以後ニ於テ蠶種製造養蠶生絲製造又ハ生繭賣買若ハ殺蛹乾繭ニ從事スル

モノハ蠶病豫防法施行規則第二條ノ届出同第七條及第八條ノ設備ヲナスコトヲ要セス

第三十三條 明治四十二年ニ限リ第二條ノ届出ヲナシタル者ハ第五條ノ様式第三號生繭取扱証票

下附請求書ヲ差出シタル者ト看做ス

様式第一號

木 製

長一尺三寸

巾五寸

備 考

蠶種製造	
生繭賣買	生絲製造
殺蛹乾繭	
所	
何郡市何町村大字何々番地	何業者 氏 名
代理人 氏 名	又ハ雇人 氏 名

一 營業所ヲ數箇所ニ設置スルトキハ各箇所毎ニ掲クヘシ  
様式第二號

厚 紙

長 三 寸

巾 二 寸

様式第三號

生商取扱証票下付請求書

何郡市何町村大字何々番地 何業者 氏 名 何郡市何町村大字何々番地 代理人又ハ雇人 氏 名 生商取扱証票 明治 年 月 日下付 事務所印
--

何郡市何町村大字何々番地

氏

何郡市何町村大字何々番地

氏

名

名

也 右ノ者代理人(雇人)ト相定メ生鹵賣買ニ從事爲致度候間生鹵取扱証票下付相成度此段及請求候

年 月 日

何郡市何町村大字何々番地

何業者 氏

名 印

何黨病豫防事務所宛

様式第四號

蠶病消毒濟附屬証

第 號

何郡市何町村大字何々番地

蠶種製造者 氏

名

何郡市何町村大字何々番地

代理人 氏

名

室		蠶	
裏面ニ略圖添	土間	其他	何坪
		何坪	何室
具		蠶	
何々	其他	全	何々
		何枚	何枚



右明治 年 月 日 蠶病消毒立會濟

和歌山縣蠶病豫病吏員 職印

契印

蠶種消毒濟附屬証

第 號

何郡市何町村大字何々番地  
蠶種製造者 氏  
何郡市何町村大字何々番地  
代理人 氏  
名 名

室	蠶	何坪	何室
	全	全	
土間	其他	何坪	
	其他		
裏面ニ略圖添			
具	蠶	何々	何枚
	全		全
何々	其他		
	其他		

右蠶種消毒ヲ施行シタルコトヲ証ス

年 月 日

和歌山縣蠶病豫防吏員 職印

様式第五號

掃立届

化性	化期	名稱	原種製造者	原種製造場所	掃立蛾數	全上蟻量	掃立月日	製造場所

右及御届候也

年 月 日

何郡市何町村大字何々番地

蠶種製造者 氏

名 印

何郡市何町村大字何々番地

代理人 氏

名 印

何蠶病豫防事務所宛

備考

一 化性化期蠶種ノ名稱製造者又ハ製造場所ノ異ナル原種ヨリ掃立タルモノハ各別行ニ記載ス

一ノ

一 化性化期蠶種ノ名稱製造者又ハ製造場所ノ異ナル原種ヲ數回ニ掃立ルトキハ其ノ口カ掃立  
 ナ終了セル毎ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ  
 様式第六號

蠶兒讓渡許可申請書

化性化期名稱	原種製造場所	原種製造場所	掃立蛾數	全上蟻量	掃立月日	蠶齡

右(事由)ニ依リ(道府縣郡市町村字番地何某)讓渡致度候間御許可相成度此段及申請候也

年 月 日

何郡市何町村大字何々番地

讓渡人 氏

名 印

何道府縣何郡市町村大字何々番地

讓受人 氏

名 印

何蠶病豫防事務所宛

備考

一、一部讓渡ニ就テハ蠶種掃立蛾數及同上蟻量ハ見込數ヲ記載ス可シ但シ此ノ場合ニ於テハ蠶  
 兒ノ概算頭數ヲ併記スルヲ要ス

様式第七號

何道府縣何郡市何町村大字何々番地

氏名

一、原種製造者及原種製造場所

一、化性化期名稱

一、掃立蛾數及全上蟻量(蠶兒ノ概算頭數)

一、掃立月日

一、掃斂(蛾數)

一、蠶齡

右何道府縣何郡市何町村大字何々番地何某ヨリ讓渡シタルコトヲ証ス

年 月 日

和歌山縣蠶病豫防吏員 職印

様式第八號

上 簇 届

化性	化期	名稱	原種製造者	原種製造場所	種繭選別豫定月日	製造場所

右本日上簇致候間此段及御届候也

年 月 日

何蠶病豫防事務所宛

様式第九號

收 繭 調 書

何郡市何町村大字何々番地

蠶種製造者 氏

名 印

何郡市何町村大字何々番地

代理人 氏

名 印

調査事項	化性名稱		
掃立蛾數			
掃立蠶量			
收繭總樹量			
蠶量壹匁			
付收繭樹量			
種繭樹量			

製絲用繭掛量	
同功繭掛量	
繭屑片薄薄皮	
不正形繭掛量	
原種製造豫數	
算糸用種豫數	
同上 一枚 = 付	
産卵像定蛾數	
發蛾豫定月日	

右ノ通相違無之候也

年 月 日

何郡市何町村大字何々番地

蠶種製造者 氏

何郡市何町村大字何々番地

代理人 氏

名 印

名 印

何蠶病豫防事務所宛

様式第十號

種繭証明書書換(下付)請求書



右及請求候也

年 月 日

何郡市何町村大字何々番地

蠶種製造者 氏

名 甲

何蠶病豫防事務所宛

様式第十二號

不越年原種検査請求書

化	性	化	期	名	稱	原種製造者	原種製造場所	種繭樹量	原種蛾數	同上枚數	出殼量

右原種出殼繭及母蛾相添へ及請求候也

年 月 日

何郡市何町村大字何々番地

氏

名 甲

何蠶病豫防事務所宛

様式第十三號



不越年製絲用種出殻繭検査請求書

化性	化期	名稱	原種製造者	原種製造場所	種繭樹量	製造枚數	出殻繭量

右及請求候也  
年 月 日

何都市何町村大字何々番地

氏 名 印

何蠶病豫防事務所宛

備 考

一、蠶種製造ニ供用セサリシ臺紙アルトキハ其ノ數ヲ附記スヘシ  
様式第十四號

越年蠶種検査請求書

化性	化期	名稱	原種製造者	原種製造場所	種繭樹量	製絲用種枚數	原種枚數	同上織數	製造場所

右及請求候也

年月日

何郡市何町村大字何々番地

氏

名印

何蠶病豫防事務所宛

様式第十五號

越年原種母蛾檢査請求書

化	性	化	期	名	稱	原種製	原種製	原種製	原種枚數	全上蛾數	製造場所

右及請求候也

年月日

何郡市何町村大字何々番地

氏

名印

何蠶病豫防事務所宛

樣式第十六號

方六分肉色朱

和歌山縣  
病豫防吏員  
氏名印

樣式第十七號

用種變更請求書

化	性	化	期	名	稱	原	種	製
						造	者	製
						造	場	製
						枚	數	種
						枚	數	製
						枚	數	絲
						枚	數	用
						枚	數	種
						枚	數	變
						枚	數	更
						枚	數	蛾
						枚	數	蛾
						枚	數	蛾
						枚	數	蛾

右及請求候也

年 月 日

何郡市何町村大字何々番地

氏

名 印

何蠶病豫防事務所宛

○告示

○和歌山縣告示第百八十三號

左記ノ通漁業組合ノ地區變更ヲ認可セリ

明治四十二年六月廿七日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

漁業組合名 變更地區名

和歌山市 和歌山漁業組合

和歌山市

海草郡 雜賀漁業組合

海草郡雜賀村

有田郡 唐尾漁業組合

有田郡南廣村大字唐尾、大字西廣、大字山本ノ内  
白木浦

西牟婁郡 上野浦漁業組合

西牟婁郡潮岬村大字上野

西牟婁郡 瀬戸鉛山浦漁業組合

西牟婁郡瀬戸鉛山村

右明治四十二年六月廿四日認可

○和歌山縣告示第百八十四號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

明治四十二年六月廿七日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

第六九九號

西牟婁郡潮岬村大字上野千七百四十七番地  
和歌山縣平民

瓜田つる

明治十四年九月生

○和歌山縣告示第百八十五號

有田郡南廣村大字井關六百三十六番地

開業產婆

大野くまゑ

右今般婚姻ノ旨ヲ以テ訂正願出ニ依リ本日左ノ通和歌山產婆名簿ニ訂正ス

明治四十二年六月廿七日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

有田郡湯淺町大字湯淺二百九十二番地

棚野くまゑ

○和歌山縣告示第百八十六號

奈良縣宗陀郡伊那佐村大字比布ニ於テ本月十八日和種牡牛一頭炭疽ニ罹リ斃死セシ旨通知アリタ

明治四十二年六月廿七日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

○通牒照會

○通牒

○丙三第四八〇九號

明治四十二年六月二十七日

內務部長 相良 步

郡市長殿  
縣立學校長殿  
町村役場御中  
市町村立小學校御中

學校及在郷軍人其他へ對スル舊式銃器彈藥拂下價格令般別紙甲號ノ通改定相成候趣ヲ以テ別紙乙號注意事項ヲ添へ其筋ヨリ通牒有之候條此段及移牒候也  
甲號

舊式銃器彈藥拂下價格表

品目	數	量	學校及在郷軍人	學校及在郷軍人以外
村田步兵銃	一挺		二〇〇〇 <small>円</small>	四〇〇〇 <small>円</small>
同實包	一〇〇發		〇五〇〇	一〇〇〇

村田 騎銃	一挺		一五〇〇		二〇〇〇
同 實包	一〇〇發		五〇〇		一〇〇〇
村田 連發銃	一挺		二三〇〇		六〇〇〇
同 實包	一〇〇發		五〇〇		一〇〇〇
同 空包	一〇〇發		五〇〇		一〇〇〇
村田 連發騎銃	一挺		一八〇〇		四〇〇〇
同 實包	一〇〇發		五〇〇		一〇〇〇
擬製彈	二〇〇發		五〇〇		一〇〇〇

備考

- 一、本表價格ニハ荷造、運搬費ヲ含マス
- 二、本表中實包、空包及擬製彈ノ價格ハ銃ト共ニ拂下タル場合ニ於ケル價格ヲ示ス
- 三、實包及空包ハ一回ノ拂下數チ一銃ニ付二百發以內トシ擬製彈ハ一銃ニ付三十發以內トス  
但學校ハ此ノ限リニアラス
- 四、實包、空包及擬製彈ノミハ拂下ス  
但以前拂下タル銃ニ對シテハ第三項ニ準シ特ニ拂下チナス此ノ場合ニ於テ學校及在郷軍

人ニ對スル價格ハ種類ノ何タルヲ問ハス總テ百發ニ付金八拾錢トス

五、村田連發銃及村田歩兵銃ニハ一挺ニ付銃劍、帶革、劍差、負革、彈藥盒各一各種騎銃ニハ一挺ニ付負革、彈藥盒各一ヲ附ス

但シ在庫品不足ヲ生シタルトキハ右屬品ノ一部若ハ全部ヲ缺クコトアルヘシ此場合ニ於テ銃劍ヲ缺キタルトキハ本表價格ヨリ一挺ニ付金參拾錢ヲ減ス

六、本表價格ハ明治四十二年八月一日以降陸軍省受領ノ分ヨリ實施ス

乙 號

銃器彈藥拂下ニ關スル注意事項

- 一、警察官署ノ發シタル讓受ケ許可證中往往銃砲火藥類取締法施行細則第四條ノ様式ニ適合セザルモノアリ
- 一、實包千發以上拂下出願ノ場合ニ於テ廳府縣ノ許可證ヲ添付セザルモノアリ
- 一、在郷軍人ハ肩書ニ其ノ役種階級等ヲ明記スルコト
- 一、願書ト許可證トニ記載セザル種類、數量、及姓名等符各セザルモノアリ
- 一、實包ノヨリ拂下出願ノ場合ニハ前ニ拂下ヲ受ケタル銃器彈藥ノ種類、數量並許可ノ年月日等ヲ詳記スルコト
- 一、願書ハ本人ヨリ直接陸軍大臣ニ差出スコト



○ 辭 令

○ 明治四十二年六月二十三日

(各 通)

和歌山縣屬 滿口 滿貞

和歌山縣屬 村田嘉太郎

明治四十二年六月執行縣會議員補闕選舉海草郡內投票所及同郡選舉會監視ヲ命ス

和歌山縣屬 松尾 孝夫

明治四十二年六月執行縣會議員補闕選舉海草郡內投票所監視ヲ命ス

○ 明治四十二年六月二十五日

給九級俸

和歌山高等女學校教諭 田 淵 之 子

給九級俸

和歌山高等女學校教諭 鎮 目 恒 子

給六級俸

和歌山高等女學校教諭 瀧 口 五 子

給七級俸

和歌山高等女學校助教諭 中 野 英

給七級俸

和歌山高等女學校助教諭 藤 田 八 重

○ 正課 高橋重太郎水産試験場技手月俸三十圓八五圓ノ水産講習所技手月俸五圓八三圓ノ執レモ課 (第八八五號) 縣報辭令欄

上田忠次農事試験場技手月俸十五圓八五圓ノ課 (第八八七號) 縣報辭令欄

○彙報

○轉任 本縣屬岡村鐵太郎ハ本月二十三日内務屬ニ轉任セリ

○陞等 本縣技師川村六郎ハ本月二十二日高等官七等ニ陞叙セリ

○郡市長會議 本月二十四日ヨリ開會

○正誤

○本月二十四日縣報第八八七號縣令第三十號第一條市町村立尋常高等小學校ハ市町村立尋常小學校ノ誤

# ○觀象

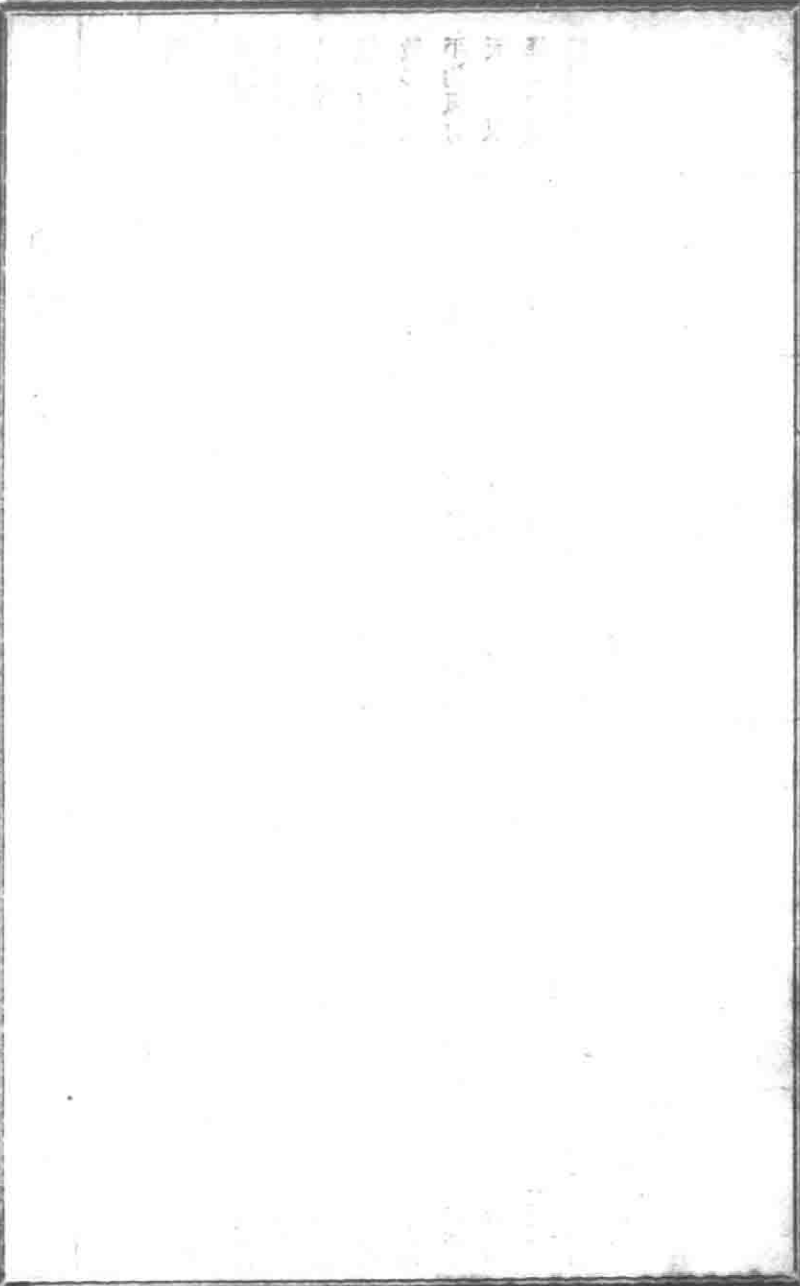
自六月廿二日至廿四日氣象

(和歌山測候所觀測)

種目	六月廿二日		六月廿三日		六月廿四日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七五九耗三	七五八耗四	七四八耗七	七五八耗一	七五一耗五	七五六耗四
平均氣溫	一二三度八	一二一度五	一二二度五	一四度五	二四度八	二三度〇
最高氣溫	二五度〇	二六度二	二四度三	二二度二	二九度八	二六度三
最低氣溫	一二二度三	一八度八	二〇度八	二〇度九	二〇度八	二〇度七
最多風向	南	西南西	北東	北東	北々東	南西
平均風力	三米二	一米三	三米三	一米四	二米三	二米〇
天氣	雨	雨后天晴	雨后天曇	雨	晴	曇又雨
降水量	七耗九	一一耗八	二四耗九	一八耗二	〇耗〇	一五耗〇
記事現象	終日降雨夕刻海上降雨沿海ナ警戒ス	午前降雨午日量ナ映ス	午前降雨全十時北東ノ強風吹ク	終日降雨	時間微雨	早朝并ニ午后降雨 午后三時半南東ニ雷鳴

和歌山縣報 第八八次號 明治三十二年六月二十七日 (第三種郵便物認可)

二八



明治三十二年六月二十六日印刷  
明治三十二年六月二十七日發行  
(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行)

和歌山縣知事官房

和歌山市北休賀町六番地  
和歌山市北休賀町六番地  
印刷  
活版部  
七